

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立保育所維持管理業務										
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部			課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	児童福祉法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公立保育所及び小規模保育施設に入所している乳幼児			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	保育所等に通所する乳幼児が安全で衛生的な場で保育を受けられるよう必要な警備や施設保全、保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公立保育所施設及び小規模保育施設を適切に維持管理、環境整備を行うことで保育の場の安全、衛生面が確保されている状態				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各保育所に用務員を配置し日常の清掃等を行う。</li> <li>警備委託をはじめ、施設にある設備等の維持管理、点検等を専門業者により行う。</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		公立保育所が適正に維持管理されている。				公立保育所の施設保全や保守点検等を行う。							
指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		修繕料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検等実施件数							
		単位				単位				単位			
		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標設定	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	17	16	15	15
	実績					128.50				17			
達成度						129%				100%			
分析						各施設の老朽化も進んでいることから修繕件数は増加傾向にある。				必要な保守点検等を適正に行った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	12.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	105,900	84,466	85,725		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	12,652	14,036	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	118,552	98,502	85,725		
	物件費計	88,795	91,355	92,817	104,320	89%	
歳出計		207,347	189,857	178,542			
歳入	国庫支出金	705	907	943	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	3,619	9,532		
	歳入計	705	907	4,562	9,532		
一般財源		206,642	188,950	88,255	94,788		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	警備委託をはじめ、施設にある設備等の維持管理、点検等など専門性の高い業務については、外部委託により実施することで、適切な施設の維持管理を実施した。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	保育環境・衛生環境の効率的かつ効果的な維持管理を継続する。災害時には被害状況の確認を速やかに行い、適切な対応を行っていく。また、技能労務職のあり方、技能労務職員等の配置基準の見直しの検討を進め、事業費削減への取り組みを進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立保育所管理運営事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	児童福祉法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	公立保育所及び小規模保育施設に通所する乳幼児				
	サブターゲット	公立保育所及び小規模保育施設に通所する乳幼児の保護者				
	ターゲットが抱える課題	保育所等に通所する乳幼児が安全で安心な保育を受けられるよう適正な人員配置を行うほか、保育所運営に係る各種業務委託等を実施する必要がある				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育所等に通所する乳幼児が適正な人員配置の下保育を受けられ、保育所運営に係る各種業務委託等が適正に実施される					
事業概要	<p>公立保育所及び小規模保育施設(以下、「保育所」という。)における適切な保育を実施する。          平成30年10月に1園、及び平成31年1月に2園の小規模保育施設を開設。          平成30年4月1日現在の入所児童数は1,279人。平成30年度において、乳児保育(11園)、延長保育(17園)、障害児保育(17園)を実施。          また、17施設の管理運営を以下の内容等をもって実施。          ・保育所運営に係る人員の配置(特別職非常勤職員の募集、臨時職員の雇用など)          ・保育所運営に係る各種業務委託の実施(園外保育に伴うバスの借り上げなど)          ・調理業務(入所児への給食の提供)の実施          ・3歳児以上の完全給食の実施</p>					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	適切な管理運営により、保育所等に通所する乳幼児が安全で安心な保育を受けられる。	アウトプット (活動結果)	各種業務委託等を通じて、適切な管理運営を行う。	インプット (活動)	適切な保育を実施できるよう、各種業務委託等を行う。							
	指標説明	公立保育所の管理運営に係る苦情件数	アウトプット (活動結果)	円滑な保育運営を適切な管理運営のもと実現した保育所数	インプット (活動)	各種業務委託等を実施している保育所数							
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	単位	件							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	0	17	16	15	15	17	16	15	15
	実績	0				17				17			
	達成度	100%				100%				100%			
分析	公立保育所の管理運営について適切な管理運営を行った。				全公立保育所等において適切な管理運営を行った。				保育所運営に係る各種業務委託を適正に実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	238.10
任期付職員	84.80
会計年度任用職員	153.30
特別職非常勤	22.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,158,491	2,178,250	2,237,095	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	279,176	118,254	200,236	
		特別職非常勤	—	—	5,363	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	2,437,667	2,296,504	2,442,694	
	物件費計	186,999	145,163	163,407	174,758	94%
	歳出計	2,624,666	2,441,667	2,606,101		
歳入	国庫支出金	71,764	100,143	10,498	0	
	府支出金	41,490	50,195	22,727	23,000	
	受益者負担(使用料・手数料)	327,383	238,343	22,805	2	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,738	15,011	4,001	25,851	
	歳入計	443,375	403,692	60,031	48,853	
	一般財源	2,181,291	2,037,975	103,376	125,905	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	適正な人員の配置や各種業務委託等を通じて、保育所の適切な管理運営を達成した。また、災害等の緊急時において保育を実施する必要があることから、水やアルファ化米等を備蓄した。また、保育士職員の事務的負担の軽減、及び保護者の利便性向上を図るために保育ICTシステムの導入を行った。令和2年4月から公立保育所において、3歳以上児の完全給食を実施した。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適切な保育が実施できるよう、適正な人員配置や、効果的な予算執行を図っていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立保育所保育環境整備事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	2009 (H21) 年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	児童福祉法											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	公立保育所及び小規模保育施設										
	サブターゲット	公立保育所及び小規模保育施設に通所する乳幼児										
	ターゲットが抱える課題	老朽化している保育所施設については安全性や衛生面の観点から改善する必要がある										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	老朽化等により改善が必要となった公立保育所内の設備について修繕や補修工事を実施し、安全で衛生的な環境が整備されている状態											
事業概要	老朽化等により安全性や衛生面において改善が必要となった保育所施設等(設備)について、環境整備を行う。 ・修繕、補修工事の実施(床張替え、様式トイレへの切り替え、電灯衛生器具の交換等)											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						保育所施設等(設備)の環境が適正に整備されている。				保育所施設等(設備)について、修繕、補修工事の実施を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				修繕、補修工事の実施件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
						減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	120	120	120	120
	実績					76				152			
達成度					76%				127%				
分析					当初予算において見込んだ必要な工事等について適正に実施した。				各施設の老朽化も進んでいることから修繕件数は増加傾向にある。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,976	9,620	7,178		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,976	9,620	7,178		
	物件費計	85,059	48,130	91,452	102,300	89%	
歳出計		89,035	57,750	98,630			
歳入	国庫支出金	0	622	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	38,300	52,000		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	622	38,300	52,000		
一般財源		89,035	57,128	53,152	50,300		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	老朽化に対応する処置として、建具、トイレ、空調設備、防災設備等の改修工事等を実施し、園児が安全かつ衛生的に過ごせるような保育環境整備を行った。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後更なる老朽化に対応するために、適切な修繕、補修工事を実施し、安全かつ衛生的な保育環境維持を努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	保育士等研修事業											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	子ども未来部			課	公立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	2014 (H26) 年度			年度	～		年度まで					
根拠法令等	児童福祉法第11条 地方自治法施行令第174条の26及び同施行令第174条の49の2											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	市内保育所等の保育担当職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	日々の業務の中で、障害児保育や虐待対応等について学ぶ機会が少なく、業務だけで専門性を強化することが難しい。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育士への研修を行うことにより、専門性を強化し、保育の質の向上につながり、安心した保育を行うことができる。											
事業概要	<p>中核市移行に伴い、以下の3種の研修について、市で実施をしている。</p> <p>就学前人権研修については、人権が尊重された就学前教育をめざして今日的な課題への対応の在り方について、教育心理学・障害児教育学の教授による講演の実施。</p> <p>障害児研修については、障害児保育の実施に必要な知識及び技術について、発達心理学、障害児心理学の教授による講演の実施。</p> <p>認可外保育所研修については、保育従事者の必要な知識及び技術について、虐待対応等について家庭児童相談員等による講演を実施。</p>											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						各種研修を通じて、専門性を強化し、保育の質の向上につながり、安心した保育を行うことができる。				保育士等に対し、各種研修を実施。			
指標設定	指標説明					研修に参加した延べ人数				各種研修の実施件数			
	指標種類	単位				単位 人				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					300	300	300	300	8	7	8	7
	実績					58				1			
	達成度					19%				13%			
分析						新型コロナウイルス感染症の影響により研修を実施することができなかったため、想定より少なくなった。				新型コロナウイルス感染症の影響により研修を実施することができなかったため、想定より少なくなった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	2,405	2,393	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,590	2,405	2,393	
	物件費計	422	512	1,047	523	200%
	歳出計	2,012	2,917	3,440		
歳入	国庫支出金	211	256	523	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	211	256	523	0	
一般財源		1,801	2,661	524	523	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で研修の開催が困難であったため、障害児研修についてはオンラインで開催し、58人の公私立保育所(園)等の保育士等の参加があった。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後は対面だけの研修開催だけではなく、オンライン研修を開催し、多くの保育士等が参加できる整備を行っていき、保育士等の質の向上に努める。



# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	預かり保育事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名		15-2.保育環境等の充実											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2015 (H27) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	子どもを預けたい意向を持つ保護者				
	サブターゲット	枚方市立幼稚園に在園する園児				
	ターゲットが抱える課題	子どもを預ける場所を確保できず、就労できない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安心して子どもを預けながら、就労できる状態					
事業概要	保護者支援の充実の一環として、幼稚園で一時預かりを実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
	園児を安心して預けることができ、保護者の子育て支援及び就労支援が充実したものとなる。	幼稚園に園児を預ける。	幼稚園で園児の預かり保育を実施する。										
指標設定	指標説明	利用者数	実施日数										
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標									
	指標数値	単位	%	単位	人	単位	日						
		目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
	実績	70	71	71	72	28,000	29,000	30,000	31,000	1,888	1,698	1,698	1,698
	達成度	130%				101%				91%			
	分析	目標を大きく上回った。				目標を達成した。				新型コロナウイルス感染症により臨時休園を行ったため、実施日数が見込よりも少なかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	24.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	25,590	3,190	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	45,697	61,002	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	71,287	64,192	
	物件費計	—	71	44	393	11%
	歳出計	—	71,358	64,236		
歳入	国庫支出金	—	1,018	3	0	
	府支出金	—	509	3	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	3,032	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	4,559	6	0	
一般財源		—	66,799	38	393	

#### 5. 総括的分析

総括的分析 幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図るため、延べ1,723回の預かり保育を実施した。また、幼稚園において、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として提供し、家庭の教育力を高めるための幼児教育教室については、新型コロナウイルスのため、交流の場としては実施できなかったが、観劇やコンサートなどを計3回実施した。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	預かり保育を拡充し、幼児教育教室の充実を図る中で、保護者の活用状況や要望、参加状況等を見極めながら、幼児にとって安全・安心な遊び場を提供し、子育て支援の一層の充実を図る。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立幼稚園管理運営事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名		15-1.子育て支援の充実										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業		区分	一般事務事業						
事業期間	不明		年度	~	年度まで							
根拠法令等	学校教育法											
関係補助金名称						サンセット	~					
関係附属機関名称	教育委員会											

事業対象	メインターゲット	公立幼稚園在園児										
	サブターゲット	公立幼稚園の園児の保護者・地域の2、3歳の未就園児とその保護者										
	ターゲットが抱える課題	公立に通園する園児が安全で安心な教育を受けられるよう適正な管理運営を行うとともに、地域の2、3歳の未就園児とその保護者が教育力向上及び子育て不安が軽減を図れる取り組みをする必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	幼稚園教育要領で求められている教育を円滑に推進できるとともに、園児や保護者、地域の2、3歳の未就園児及び保護者が安心して登園し、教育力向上及び子育て不安の軽減等を図れるよう適切な管理運営が実施される。											
------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>公立幼稚園(以下、「幼稚園」という。)における適切な教育を実施する。</p> <p>令和2年4月1日現在の入所児童数は490人。令和2年度において、3年保育(6園)、2年保育(1園)、預かり保育(7園)、支援教育(7園)を実施。幼稚園教育要領で求められている教育を円滑に推進できるとともに、小学校への滑らかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供など、幼児教育の充実を図る。また、保護者支援の充実の一環として、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図るために、地域の2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場を提供する。</p> <p>そのため、7施設の管理運営を以下の内容等をもって実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営に係る人員の配置(職員管理、会計年度任用職員の雇用など)</li> <li>・運営に係る必要な経費の円滑な運用</li> </ul>											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	幼稚園に通園する園児や保護者、地域の2、3歳の未就園児及び保護者が安全で安心な教育を受けられる。				アウトプット (活動結果)	幼稚園の運営経費について適正な執行管理が行われる。				インプット (活動)	幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供など、幼児教育の充実を図るため、幼稚園が円滑な運営に必要なとする予算の計上			
---------	--------------	--	--	--	--	---------------	---------------------------	--	--	--	------------	--	--	--	--

指標設定	指標説明	利用者アンケートにおける肯定的な評価(「満足」または「やや満足」)の割合【算定式: 肯定的回答/回答者総数*100】				幼稚園の運営に要する経費に対する決算額の割合【算定式: 決算額/当初予算額*100】				幼稚園運営事務に係る予算計上額(合計)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	97	98	99	100	85	85	85	85	18,225	18,225	18,225	18,225
	実績	98											
	達成度	101%				0%				0%			
	分析	目標を達成した。											

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	幼稚園に通園する園児や保護者、地域の2、3歳の未就園児及び保護者が安全で安心な教育を受けられる。				アウトプット (活動結果)	未就園の幼児と保護者が幼児教育教室に参加する。				インプット (活動)	地域の2、3歳の未就園児とその保護者を対象とした幼児教育教室を実施する。			
----------	--------------	--	--	--	--	---------------	-------------------------	--	--	--	------------	--------------------------------------	--	--	--

指標設定②	指標説明	利用者アンケートにおける肯定的な評価(「満足」または「やや満足」)の割合【算定式: 肯定的回答/回答者総数*100】				参加者数				実施箇所数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	97	98	99	100	4,500	4,500	4,500	4,500	7	6	6	6
	実績	98				180				7			
	達成度	101%				4%				100%			
	分析	目標を達成した。				新型コロナウイルスのため、対象を限定して実施した。				全市立幼稚園で実施した。			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		幼稚園に通園する園児や保護者、地域の2、3歳の未就園児及び保護者が安全で安心な教育を受けられる。				健康状態が把握され、疾病の早期発見、必要に応じた事後指導など、園児・児童・生徒の健康保持につながる。				園児・児童・生徒等の健康診断を定期的に実施する。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定 ③	指標説明	利用者アンケートにおける肯定的な評価(「満足」または「やや満足」)の割合【算定式: 肯定的回答/回答者総数*100】				定期健康診断の受診率(受診者数/対象者数×100%)				健康診断の機会			
		単位		%		単位		%		単位		園	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	97	98	99	100	100	100	100	100	7	6	6	6
	実績	98				100				7			
	達成度	101%				100%				100%			
分析	目標を達成した。				全ての児童が健診を受診した。				全市立幼稚園で実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	24.50
任期付職員	22.00
会計年度任用職員	4.80
特別職非常勤	28.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	186,510	288,756	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	25,456	10,916	
		特別職非常勤	—	—	4,345	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	211,966	304,017	
	物件費計	—	19,696	32,042	45,172	71%
	歳出計	—	231,662	336,059		
歳入	国庫支出金	—	0	1,187	3,500	
	府支出金	—	0	2,861	3,000	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	78	82	0	
	歳入計	—	78	4,130	6,500	
	一般財源	—	231,584	27,912	38,672	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の2,3歳の未就園児とその保護者を対象とした幼児教育教室を全市立幼稚園において実施し、延べ180人の参加があった。</li> <li>・全市立幼稚園において健康診断を実施し、すべての対象児童が検診を受診した。</li> </ul>
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、幼少連携の推進や多様な体験の機会提供など幼児教育の充実を図るとともに、保護者支援充実の一環として、家庭の教育力向上や子育て不安の軽減に向けた取り組みを進める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立幼稚園環境整備事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	学校教育法						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称	教育委員会						
事業対象	メインターゲット	公立幼稚園の園児					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	公立幼稚園に通所する乳幼児が安全で衛生的な場で保育を受けられるよう必要な警備や施設保全、保守点検等を実施する必要がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公立幼稚園施設を適切に維持管理、環境整備を行うことで保育の場の安全、衛生面が確保されている状態。老朽化等により改善が必要となった公立幼稚園内の設備について修繕や補修工事を実施し、安全で衛生的な環境が整備されている状態。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各幼稚園に用務員を配置し日常の清掃等を行う。</li> <li>警備委託をはじめ、施設にある設備等の維持管理、点検等を専門業者により行う。</li> <li>老朽化等により安全性や衛生面において改善が必要となった幼稚園施設等(設備)について、環境整備を行う。</li> <li>修繕、補修工事の実施(床張替え、洋式トイレへの切り替え、電灯衛生器具の交換等)</li> </ul>						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						保育所施設等(設備)の環境が適正に整備されている。				公立保育所の施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額】				保守点検等実施件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	7	6	6	6
	実績					7				7			
達成度					7%				100%				
分析					当初予定していた工事が新型コロナウイルスの関係で工事が延期・中止になったため、想定より少なくなった。				全公立幼稚園において保守点検等を実施できた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	3.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	26,857	30,305	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	6,627	6,234	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	33,484	36,539	
	物件費計	—	20,094	8,037	11,732	69%
	歳出計	—	53,578	44,576		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	53,578	8,037	11,732	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>各幼稚園に校務員を配置し日常の清掃等を行った。</li> <li>警備委託をはじめ、施設にある設備等の維持管理、点検等など専門性の高い業務については、外部委託により実施することで、適切な施設の維持管理を実施した。</li> <li>公立幼稚園の維持補修として、トイレの改修工事の設計委託を行い、園児が安全かつ衛生的に過ごせるような環境整備を行った。</li> </ul>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育環境・衛生環境の効率的かつ効果的な維持管理を継続する。災害時には被害状況の確認を速やかに行い、適切な対応を行っていく。</li> <li>保全計画に基づく施設全般の維持保全及び予防保全工事を計画的に進めるとともに、園からの要望に対し緊急性や安全性を最優先とした工事や修繕により、良好な環境の維持に努める。</li> </ul>

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校保健会支援事業(幼稚園)													
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性	内部事務				区分	一般内部管理事務				
事業期間	不明			年度	~				年度まで					
根拠法令等	学校保健安全法													
関係補助金名称								サンセット	~					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		学校保健関係者(学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教職員、PTA、教育委員会)											
	サブターゲット		枚方市立幼稚園の幼児											
	ターゲットが抱える課題		幼稚園生活を安全・安心に過ごすことが出来るための調査研究協議をする場が少ない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	学校保健会の事業の円滑な実施について支援する。													
事業概要	<p>幼児一人ひとりの健康・安全の保持増進を目指し、会員相互が連帯して学校保健が当面している諸問題について調査研究協議を進め、学校保健の推進と実践活動を行うために次の事業を行う。</p> <p>(1) 保健安全、衛生思想の普及啓発  (2) 学校保健の振興に必要な計画及び事業  (3) 学校保健に関する調査研究  (4) 学校保健関係者の交流及び研究活動の支援  (5) その他本会の目的達成に必要な事業</p>													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					枚方市学校保健研究大会に学校保健関係者及び市民が参加する。				枚方市学校保健研究大会を開催する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				枚方市学校保健研究大会の参加者数				枚方市学校保健研究大会の開催回数					
	単位				単位				単位					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)						100	100	100	100	1	1	1	1
	実績						0				0			
達成度				0%				0%						
分析				新型コロナウイルスのため開催できなかった。				新型コロナウイルスのため開催できなかった。						



3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	401	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	401	0	
	物件費計	—	11	11	12	92%
	歳出計	—	412	11		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	412	11	12	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	(1) 幼児・児童・生徒一人ひとりの健康・安全の保持増進を目指し、会員相互が連携して学校保健が当面している諸問題について調査研究を進めるために必要物品の購入を行った。 (2) 枚方市保健会総会並びに講演会の実施支援、総会参加人数 99人 (3) 枚方市立学校保健研究大会の実施支援 研究大会参加人数 0人
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き、学校保健会の目的達成に必要な事業の実施支援を行い、学校保健の推進を図っていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	就学前支援教育推進事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2005 (H17) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	障害児、医療的ケアを必要とする児童				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	個に応じた支援を受ける機会を充実する必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じた支援を受けることができる状態。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援教育コーディネーター、支援教育担当臨時講師、生活支援員を配置し、支援の必要な公立幼稚園に在籍する園児の発達支援、生活支援を行う。</li> <li>看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児における日常生活を支援する。</li> <li>市内公私立幼稚園に相談員を派遣し、保護者や教職員に対して、相談や指導・助言を行う。</li> <li>就学前の幼児を対象とし、専門的な言語訓練や指導及び、相談活動を行い、スムーズな小学校就学につなげる。</li> </ul>					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じた支援を受けることができる。				相談員の派遣により、対象の職員、園児に対し、適切な指導・助言を行うことができる。				公私立幼稚園に在籍する発達障害等の園児への支援のため、公私立幼稚園に相談員を派遣する。			
指標設定	指標説明	支援が必要と認められた園児に対する支援教育に係る満足度 【算出式: 支援を必要とする園児/支援をしている園児数×100】				専門家による指導・助言回数				公私立幼稚園への専門家派遣園数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	20	20	20	20	10	10	10	10
	実績	100				379				15			
	達成度	100%				1895%				150%			
	分析	目標を達成した。				目標を達成した (令和元年度実績を踏まえて、目標値を320に変更している)。				目標を達成した。			
ロジックモデル②		支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じた支援を受けることができる。				配慮が必要な園児に支援教育担当臨時講師、生活支援員を配置し、支援教育が推進される。				市立幼稚園の支援教育推進の中心となる支援教指導コーディネーターを配置し、支援教育担当臨時講師、生活支援員の活動を指導する。			
指標設定②	指標説明	支援が必要と認められた園児に対する支援教育に係る満足度 【算出式: 支援を必要とする園児/支援をしている園児数×100】				支援教育担当臨時講師、生活支援員の配置数				支援教育指導コーディネーター配置園数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	10	10	10	10	7	6	6	6
	実績	100				46				7			
	達成度	100%				460%				0%			
	分析	目標を達成した。				見込みよりも多くの会計年度任用職員を配置することができた (見込を10→30に変更している)。				全市立幼稚園に配置した。			

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じた支援を受けることができている。	看護師を配置することにより、対象幼児の市立幼稚園における日常生活を支援する。	医療的ケアを必要とする幼児のため、看護師を配置。	
指標設定③	指標説明	支援が必要と認められた園児に対する支援教育に係る満足度 【算出式: 支援を必要とする園児/支援をしている園児数×100】	看護師を必要とする園児数	看護師の配置人数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 人	単位 人
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	100 100 100 100	2 2 2 2	2 2 2 2
	達成度	100%	100%	150%
	分析	目標を達成した。	想定どおりの実績となった。	看護師を必要とする園児に対して適切に人員を配置した。
	指標数値	100	2	3

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	5.00
会計年度任用職員	26.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	2,806	24,410	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	37,591	17,419	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	40,397	41,829	
	物件費計	—	4,687	5,326	7,418	72%
	歳出計	—	45,084	47,155		
歳入	国庫支出金	—	2,984	3,032	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	2,984	3,032	0	
	一般財源	—	42,100	2,294	7,418	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全市立幼稚園に支援教育コーディネーターを配置するとともに、支援教育担当臨時講師及び生活支援員を46名配置し、支援を必要とする園児の発達支援、生活支援を行った。</li> <li>・令和2年度は、医療的ケアを必要とする在園児が2名いたため、看護師を配置した。</li> <li>・市内の公私立幼稚園等16か所に相談員を派遣し、保護者や教職員に対して、延べ379回の相談や指導・助言を行った。</li> </ul>
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	障害のある子どもに対して、社会的障壁を取り除くために行われる合理的配慮の観点を踏まえ、基礎的環境整備を整えていくとともに、本人・保護者の意向を受け止め、合意形成を図りながら支援教育の充実を図っていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立保育幼稚園課運営事務										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	子ども未来部			課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	9. 施策体系外									
	施策目標	99. 施策体系外									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	2016 (H28) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	公立保育幼稚園課の所属職員				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている					
事業概要	公立保育幼稚園課の予算及び決算に関する事務、職員の給与、休暇、人事、服務に関する事務、物品購入、物品管理事務、文書の收受、発送、管理事務など。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)					
指標設定	指標説明															
	指標種類	単位					単位					単位				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
	目標 (見込み)															
	実績															
	達成度															
分析																

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,746	8,017	9,570		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	8,746	8,017	9,570		
	物件費計	365	427	187	378	49%	
	歳出計	9,111	8,444	9,757			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	5	0	0		
	歳入計	0	5	0	0		
一般財源		9,111	8,439	187	378		

#### 5. 総括的分析

総括的分析 必要な事務処理など、公立保育幼稚園課の運営を行った。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適切な業務運営に努める。